

【NEWS RELEASE】

2019年3月26日

各 位

株式会社三井住友銀行

一般財団法人神戸観光局と株式会社三井住友銀行との
神戸市の観光振興ならびにキャッシュレス化推進に関する連携協定の締結について

一般財団法人神戸観光局（会長：尾山 基、以下「神戸観光局」）と株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、2016年5月23日に神戸市と三井住友銀行が締結した「神戸市と三井住友銀行との産業振興にかかる連携協力に関する協定書」に基づき、「国際都市・観光都市としての神戸市の魅力向上に資する事業」の一環として、本日、地域のキャッシュレス化推進をはじめ、神戸市の観光振興にかかる事項について連携・協力して行うことに合意しました。

神戸観光局は国際的なビッグイベントを控え、インバウンド誘客を加速させており、地域のキャッシュレス化推進による訪日外国人旅行者受入の環境整備を進めるなど、地域経済の活性化に取り組んでおります。

また、2019年2月12日に公表（プレスリリース「次世代決済プラットフォーム事業の戦略上の意義について」ご参照）しました通り、SMBCグループでは三井住友カードを中心に、多様性を伴いながら複雑な進化を遂げている我が国のキャッシュレス決済市場において、テクノロジーの進化、異業種プレイヤーの参入、利用者・事業者のニーズの多様化等の変化に対応すべく、利用者・事業者双方の顧客の目線でサービスのレベルアップを図るとともに、日本のキャッシュレス決済進展の阻害要因を解決するために、各種サービスの開発に着実に取り組んでおります。

今般、神戸市における地域のキャッシュレス化推進に貢献すべく、取組を強化してまいります。

本協定の事業内容は以下の通り。

- 訪日外国人に対する誘客・サービス提供に資する事業
- 地域のキャッシュレス化推進など、観光振興に資する事業
- 神戸観光局会員増加に資する事業
- キャッシュレス決済取引企業・利用者増加に資する事業

（ご参考）神戸観光局公認ステッカー

神戸観光局では、本協定に基づく取組の第一弾として、キャッシュレスにかかる公認ステッカーを製作。カード決済可能な店舗の目印として、地域内の事業者に広く配布してまいります。



以 上